

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

|  |  |
|--|--|
| <b>事業所名</b>  | ももたろうの郷 なかよし苑  |
| 日付   | 平成16年4月27日   |
| <b>評価機関名</b>   | 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会  |
| 評価調査員  | 在宅介護支援センターでの相談援助業務 経験11年、家族介護 経験3年<br>・特別養護老人ホームでの介護業務 経験15年 |
| <a href="#">自主評価結果を見る（事業者の自主評価結果にリンクします）</a>           |  |
| <a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の設定した評価項目へリンクします）</a>        |  |
| <b>事業者のコメントを見る</b><br>（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！） |  |

**外部評価の結果**

|   |
|---|
| <b>概評</b>   |
| 全体を通して（特に良いと思われる点など）  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の表情が、穏やかで、落ち着いている。</li> <li>・職員が入居者に対し、思いやりのある介護を心がけており、サービスの質の向上に対しても意欲的に感じられた。</li> <li>・地域住民との関わりが出来るよう、母体施設の通所リハビリを無料開放するなどの工夫がなされており、積極的な姿勢が感じられた。</li> </ul>   |
| 特に改善の余地があると思われる点  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では、若干、入居者への言葉かけをはじめ、支援の場面で、入居者の尊厳に対する配慮が必要と感じられる部分もあり、外部の研修機会の活用も必要と感じる。</li> <li>・職員は、入居者を支援するうえでの知識並びに技術の習得に意欲的である。今後は、さらに外部研修の活用を図り、そこから得た知識及び技術を全職員で共有し標準化し、併せて事業所の運営理念等の浸透を図るうえでも、事業所内での内部研修を積極的に実施していただきたいと感じる。</li> <li>・居室等が病室的な雰囲気があるため、入居者個々の特性を把握した、生活感の感じられる空間づくりの検討が必要と感じられる。</li> </ul> |

**運営理念**

| 番号   | 項目  | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1    | 理念の具体化、実現及び共有   |       |     |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か   |       |     |
|      | <p>入居者自身が、一人の人間としての尊厳を保ちながら、もてる能力を生かしたそれぞれの役割を持ち、安定した生活が送れるよう支援することにより、入居者の生活の質を高められるよう取り組んでいる。</p> |       |     |

**生活空間づくり**

| 番号   | 項目  | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 2    | 家庭的な共用空間づくり   |       |     |
| 3    | 入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり   |       |     |
| 4    | 建物の外周りや空間の活用  |       |     |
| 5    | 場所間違い等の防止策  |       |     |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か  |       |     |
|      | <p>入居者本人とその家族などから、入居者本人が歩んできた人生を再確認するとともに、その方のもっている能力から日常生活での役割を検討しながら、安定した生活が送れるように支援している。</p> |       |     |

**ケアサービス**

| 番号 | 項目                        | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6  | 介護計画への入居者・家族の意見の反映        |       |     |
| 7  | 個別の記録                     |       |     |
| 8  | 確実な申し送り・情報伝達              |       |     |
| 9  | チームケアのための会議               |       |     |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重               |       |     |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ |       |     |
| 12 | 入居者のペースの尊重                |       |     |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援        |       |     |
| 14 | 一人で行えることへの配慮              |       |     |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 |       |     |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援            |       |     |

**ケアサービス（つづき）**

| 番号   | 項目  | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 17   | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援   |       |     |
| 18   | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮   |       |     |
| 19   | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援   |       |     |
| 20   | プライドを大切にされた整容の支援  |       |     |
| 21   | 安眠の支援   |       |     |
| 22   | 金銭管理と買い物支援  |       |     |
| 23   | 痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保  |       |     |
| 24   | 身体機能の維持   |       |     |
| 25   | トラブルへの対応  |       |     |
| 26   | 口腔内の清潔保持  |       |     |
| 27   | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応  |       |     |
| 28   | 服薬の支援   |       |     |
| 29   | ホームに閉じこもらない生活の支援  |       |     |
| 30   | 家族の訪問支援   |       |     |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か   |       |     |
|      | <p>入居者個々のこれまで歩んできた人生の尊重や、プライバシー保護の観点から、特に「言葉遣い」に配慮するよう、管理者から職員に繰り返し話しをし、意識が浸透するよう努めている。</p> |       |     |

**運営体制**

| 番号   | 項目  | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 31   | 責任者の協働と職員の意見の反映   |       |     |
| 32   | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ   |       |     |
| 33   | 家族への日常の様子に関する情報提供   |       |     |
| 34   | 地域との連携と交流促進   |       |     |
| 35   | ホーム機能の地域への還元  |       |     |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。  |       |     |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の生活を知り、職員間の連携を十分にとり、同じレベルで理解を行うよう努力している姿勢が感じられた。</li> <li>・入居者にとって、安全な生活が維持できるように支援がなされているが、さらに質の高いサービス提供に向けて、今後も職員が一丸となった研究が必要と思われる。</li> </ul> |       |     |